

令和 6 年 1 月 8 日 メルボルン交流抄

「ビクトリア州警察日本人刑事さん: 日本から来られる皆様気を付けてください。」

今回は、ビクトリア州警察で唯一の日本人の刑事さんである小沼さんを紹介します。

小沼さんは、2006 年にメルボルンに来て、メルボルン大学などで仕事をした後に、2009 年にビクトリア州警察に入り、ポリス・アカデミーを卒業。3 つの異なる警察管轄区域を拠点に最前線で勤務、その後、武装強盗捜査、違法薬物捜査、家庭内暴力捜査、サイバー犯罪捜査など刑事として様々な経験を積んだ後に、特例で日本国籍のまま州警察の管理職ポジションになられています。

小沼さんは日本人の方が巻き込まれた事件・事故のケースにおいて、どの部署におられても、いつもアドバイスや協力をしていただいています。総領事館と州警察の間の緊密な連携の要として、非常に頼りになる存在です。

最近、小沼さんは、コロナ禍後、豪州に来る日本人観光客、留学生、ワーホリビザの保持者が増えるに連れて、事件・事故に巻き込まれる日本人の方が増えていることを懸念されています。特に、巧みに日本語を使って親切を装い、知らないうちに犯罪へ加担させられていたり、詐欺行為で金銭を盗まれたり、口座からお金を引落とされたりといった例もあります。また、接客業に勧誘されて犯罪に巻き込まれる例もあるそうです。

比較的安全な街と言われるメルボルンだからこそ、逆に油断は禁物です。最後は自己責任かと思いますが、オーストラリアに来る前にはよく下調べをしておくことが重要です。そして、何かお困りのこと、また、その予兆がある時には、総領事館までご連絡ください (https://www.melbourne.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/consulate-info.html)。

最後に、サイバー詐欺について小沼さんから一言。

「英語で “If something sounds too good to be true, it probably is ” というフレーズがあります。巧妙な手口が続出していますので、話の内容にほんの少しでも違和感を感じたら行動に移す前に、信頼できる人に相談することが大切だと思います。」

